

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	17096	若者交流推進事業	課名	政策課 政策調整G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	款	02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進	項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	目	07:企画費	
事業予定期間	H 28 ~ R 3 年度		主な根拠法令要綱等	

目的・概要	対象	市内在住・在勤・在学の若者
	目的	若者の力によって地域の活力を生み出すため、若者同士の交流機会の創出・充実を図るとともに、若者ならではのまちづくりアイデアを提案するなど、市政への積極的な参画を促進し、地域の活性化を図る。
概要	かめやま若者未来会議を交流基盤として、まちづくりに関する活動に取り組む。令和元年度に発表するまちづくりアイデア(政策提言)を踏まえ、地域の活性化につながるプロジェクトを検討・実践するとともに、市のイベント等に参加し、多様な主体との交流を行う。 また、効果的なアウトプットを実現するための学びとして、視察等を実施する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	まちづくりアイデアの検討・発表 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 市のイベント等への参加	まちづくりプロジェクトの検討・実践 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 市のイベント等への参加	まちづくりプロジェクトの実践 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 市のイベント等への参加	
	年度実績	○まちづくりアイデアの検討・発表 ・まちづくりに関する視察等の実施(1回: 地方創生 政策アイデアコンテスト聴講) ・メンバー会議の開催(11回) ・伊賀市若者会議との交流(1回) ○市のイベント等への参加 1回:東海道関宿街道まつりにて「かめタビ(タビオカミルクティー)」の販売			
事業費	計画額	事業費	1,000千円	1,000千円	1,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	900千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	287千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	一般財源	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
	事業費	900千円	0千円	0千円	
	国庫支出金				
	県支出金				
総人件費	一般職員	1,570千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.20	0千円	0千円	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
	総コスト(+)	1,857千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	かめやま若者未来会議の登録者数(累計) 事業開始年度(平成28年度)からの累計登録者数	成果	計画値	50	60
				実績値	56	
				単位	人	人
	名称	政策アイデアの発表回数 かめやま若者未来会議が行った政策アイデアの発表回数	成果	計画値	1	
				実績値	1	
				単位	回	
	名称	まちづくりプロジェクトの実施回数 かめやま若者未来会議が行ったまちづくりプロジェクトの実施回数	活動	計画値		1
				実績値		
				単位		回

事業の改善	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 メンバーの主体性を大切にしながら、政策アイデアを検討する手法として視察や研修を行いながら、検討する場を設ける。また、引き続き、メンバーが楽しく交流できる場とするため、レクリエーションも交えながら雰囲気づくりに取り組むとともに、活動のPRを行い主体的に活動するメンバーの充実に取り組む。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 まちづくりアイデア(政策提言)の検討に向けて、内閣府が主催する地方創生政策アイデアコンテストの聴講やメンバー会議を定期的に開催した。また、メンバーが楽しく交流できる場となるよう交流会の開催を行ったほか、メンバー会議においてもアイスブレイクを必ず行い、雰囲気づくりに取り組んだ。フェイスブックに活動の様子を定期的に掲載し、メンバー募集に努めた。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 まちづくり先進事例の視察(地方創生政策アイデアコンテスト聴講)やメンバー会議(11回)を開催し、まちづくりアイデア(政策提言)の検討及び取りまとめを行うことができた。また、伊賀市若者会議との交流会を開催したほか、市のイベント等への参加として東海道関宿街道まつりに出店を行い、亀山茶をトッピングしたオリジナルのタピオカミルクティー(かめタピ)を販売した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 まちづくりアイデア(政策提言)の具体的な検討を重ねる中で、メンバーがまちづくりに興味を持つとともに、地域課題や地域の活性化に向けたアイデアを提案するなど、まちづくりへの参画に向けた意識醸成や人材育成に繋がった。また、メンバー会議や先進事例に関する視察、他団体との交流会を通じて、若者同士の交流が促進できた。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 取りまとめを行ったまちづくりアイデア(政策提言)の具現化に向けて、まちづくりプロジェクトを検討し、実践していく必要がある。また、引き続き、メンバーが楽しく交流できる場づくりを行うとともに、主体的に活動するメンバーの充実を図る必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 まちづくりアイデア(政策提言)で提案したメンバーのアイデアを具現化するため、事業の企画・立案に対し、ノウハウを持つ事業者の支援も受けながら、メンバーが主体的に検討する機会を設ける。また、引き続き、メンバーが楽しく交流できる場となるような雰囲気づくりに努めるとともに、活動のPRを行い主体的に活動するメンバーの充実に取り組む。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 事業の企画・立案に対し、ノウハウを持つ事業者の支援も受けながら、まちづくりプロジェクトの検討・実践を行うことで、まちづくりアイデア(政策提言)の具現化をより充実したものとするとともに、メンバーが楽しく交流できる場を提供することで、主体的に活動するメンバーの増強が期待できる。	
	対応時期	令和2年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 大平 守
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A		
	成果	A	A	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		900 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	900 千円
	令和2年度への繰越額	千円